

祝 辞

中津日田間地域高規格道路促進期成会

会長 奥塚 正典 様

中津日田道路シンポジウムが盛大に開催されます事に心よりお喜び申し上げます。

地球温暖化に伴う異常気象により、50年に1度の災害が3年に1度の頻度で発生し、災害への備えをハード、ソフト両面で早急に行わなければならなくなりました。ハード面として、中津日田間を流れる山国川と平行して走っている国道212号は、豪雨のたびに危険にさらされ、通行止めも相次いでいます。自動車関連等の産業道路や観光道路としての役割だけではなく、周辺地域住民の避難道路としての重要性もある「中津日田間地域高規格道路」の早期完成が待たれます。

さて、感染症対策の基本は「最善を期して最悪に備える」です。コロナ流行後の経済と社会保障をもう一度考え直すためにも、有史以来のウイルスとの共存社会を早く取り戻すことです。同様に、自然災害の発生しやすい地形が多い大分県においても、最善の準備をして、災害に備えなければなりません。そのための命をつなぐ道路は極めて重要です。

住む場所によって抱ける希望の量に格差が生じない社会を作る必要があります。人口減少社会を逆手にとって分散型社会を再構築すべきではないでしょうか。Uターンする人の大きな要因は子どもの頃の人とのつながりだと分析されています。その受け入れの態勢づくり、地域コミュニティの再生のためにも、道路を含む社会資本整備の促進が不可欠です。

結びに、関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともに整備促進に向け精一杯努力していくことをお約束し、ご挨拶といたします。

参議院議員 足立 信也

